

第1回 WEATHER-Eye オープンフォーラム プログラム ～ 航空輸送を特殊気象（雪氷、雷、火山灰など）から守るために ～

主催：気象影響防御技術コンソーシアム（別称：WEATHER-Eye コンソーシアム）

後援／協賛：（公社）土木学会，（公社）日本ガスタービン学会，（一社）日本機械学会，（公社）
日本技術士会，（公社）日本気象学会，（一社）日本航空宇宙学会，（一社）日本航空宇宙工
業会，（公社）日本航空技術協会，（公社）日本雪氷学会，（一社）日本複合材料学会

日時／場所：平成28年9月27日（火）／東京大学 武田ホール（東京都文京区弥生2-11-16）

（敬称略）

第一部 挨拶・基調講演

司会 河原 秀久（関西大学）

- 13:00 開会挨拶
石川 和敏（WEATHER-Eye コンソーシアムステアリング会議議長，JAXA 航空技術部門）
- 13:10 来賓挨拶
藤森 昭裕（文部科学省 研究開発局）
- 13:15 基調講演1 航空行政からの気象影響防御技術への期待
岡田 規男（国土交通省 航空局）
- 13:40 基調講演2 エアラインからの気象影響防御技術への期待
市川 将巳（日本航空株式会社 運航本部）
- 14:20 基調講演3 気象影響防御技術に関するビジョンの概要
神田 淳（JAXA 航空技術部門）

<14:50～15:20> Coffee Break（参加自由）

第二部 個別気象現象に対する課題と研究開発状況

司会 野見 高司（日本特殊塗料株式会社）

- 15:20 講演1 JAXAにおける気象影響防御技術に関する研究開発状況について
渡辺 重哉（JAXA 航空技術部門）
- 15:25 講演2 積雪によるオーバーラン事故を防ぐために
大前 宏和（株式会社センチシア）
- 15:45 講演3 着氷予防による安全性を確保するために
吉田 剛士（富士重工業株式会社 航空宇宙カンパニー）
- 16:05 講演4 乱気流による事故を防ぐために
又吉 直樹（JAXA 航空技術部門）
- 16:25 講演5 被雷のリスクを下げるために
楠 研一（気象庁気象研究所 気象衛星・観測システム研究部）
- 16:45 講演6 被雷による機体損傷を防ぐために
横関 智弘（東京大学大学院 工学系研究科）
- 17:05 講演7 デブリ（氷晶・火山灰等）の吸込みからエンジンを守るために
立花 繁（JAXA 航空技術部門）
- 17:25 閉会挨拶
荻巣 敏充（WEATHER-Eye コンソーシアムステアリング会議副議長，
富士重工業株式会社 航空宇宙カンパニー）

<17:45～19:15> 交流会（会費制 3,000 円，要事前登録）

※プログラムは予告なく変更になることがあります。